

水道 News 現場レポート16 エコハイパー屋外配管

エスロンエコハイパーJWを屋外配管に採用！

エスロンエコハイパーJWを用いて、屋外露出配管を実施。
管の柔軟性を生かした曲げ配管により、曲管の使用を大幅に削減しました。



用水路の壁面に沿って、緩やかに曲げ配管を実施しました。
エスロンエコハイパーJW 150A, 曲げ半径 R = 40m



接合には、専用の保護層付きEFソケットを使用。
紫外線による劣化を防止します。



生曲げ施工が困難な曲部は、バンド管で対応。
直管と同様に保護層付きであり、現場で特殊な
施工は必要ありません。



空気弁の設置には、保護層付のフランジ付
チーズを使用しました。



配管は、支持間隔2.5mでしっかり固定しました。
通水後も、大きなたわみも発生せず、生曲げ部にも
変形等は、ありません。

エスロンエコハイパーJWは、外面保護層により水道配水用ポリエチレン管の弱点となる紫外線劣化を防止、屋外配管を可能としました。